

日本金融ハイブリッド
証券オープン（毎月分配型）
円ヘッジありコース
〈愛称〉ジェイブリッド

第137期（決算日 2025年1月14日）
第138期（決算日 2025年2月14日）
第139期（決算日 2025年3月14日）
第140期（決算日 2025年4月14日）
第141期（決算日 2025年5月14日）
第142期（決算日 2025年6月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）円ヘッジありコース」は、このたび第142期の決算を行いましたので、第137期～第142期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL  <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL  リテール営業部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2013年8月29日から2028年6月14日	
運用方針	<p>①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより、為替変動リスクを低減する運用を行います。</p> <p>③原則、毎月14日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。</p>	
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）円ヘッジありコース	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
主組入制限	日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）円ヘッジありコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額				債 組 入 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落			
	円			円			%	百万円
113期(2023年1月16日)	7,791			30	△0.1		86.9	2,192
114期(2023年2月14日)	7,886			30	1.6		98.5	2,218
115期(2023年3月14日)	7,691			30	△2.1		93.2	2,277
116期(2023年4月14日)	7,716			30	0.7		91.9	2,321
117期(2023年5月15日)	7,770			30	1.1		94.5	2,339
118期(2023年6月14日)	7,661			30	△1.0		94.2	2,445
119期(2023年7月14日)	7,583			30	△0.6		89.9	2,567
120期(2023年8月14日)	7,480			30	△1.0		96.5	2,584
121期(2023年9月14日)	7,375			30	△1.0		96.1	2,435
122期(2023年10月16日)	7,174			30	△2.3		96.1	2,393
123期(2023年11月14日)	7,118			30	△0.4		97.9	2,358
124期(2023年12月14日)	7,338			30	3.5		92.8	2,454
125期(2024年1月15日)	7,408			30	1.4		95.4	2,562
126期(2024年2月14日)	7,323			30	△0.7		97.7	2,519
127期(2024年3月14日)	7,345			30	0.7		95.0	2,530
128期(2024年4月15日)	7,228			30	△1.2		99.0	2,677
129期(2024年5月14日)	7,190			30	△0.1		99.1	2,624
130期(2024年6月14日)	7,260			30	1.4		97.9	2,565
131期(2024年7月16日)	7,228			30	△0.0		94.9	2,584
132期(2024年8月14日)	7,270			30	1.0		92.6	2,560
133期(2024年9月17日)	7,346			30	1.5		93.7	2,557
134期(2024年10月15日)	7,272			30	△0.6		97.6	2,510
135期(2024年11月14日)	7,171			30	△1.0		98.7	2,417
136期(2024年12月16日)	7,138			30	△0.0		98.5	2,376
137期(2025年1月14日)	6,970			30	△1.9		97.4	2,289
138期(2025年2月14日)	7,018			30	1.1		95.4	2,294
139期(2025年3月14日)	7,031			30	0.6		93.1	2,298
140期(2025年4月14日)	6,804			30	△2.8		91.4	2,217
141期(2025年5月14日)	6,907			30	2.0		97.3	2,232
142期(2025年6月16日)	6,897			30	0.3		95.3	2,225

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率
			騰 落 率	
第137期	(期 首)	円	%	%
	2024年12月16日	7,138	—	98.5
	12月末	7,067	△1.0	97.1
	(期 末)			
第138期	2025年 1 月14日	7,000	△1.9	97.4
	(期 首)			
	2025年 1 月14日	6,970	—	97.4
	1 月 末	7,048	1.1	95.3
第139期	(期 末)			
	2025年 2 月14日	7,048	1.1	95.4
	(期 首)			
	2025年 2 月14日	7,018	—	95.4
第140期	2 月 末	7,090	1.0	94.3
	(期 末)			
	2025年 3 月14日	7,061	0.6	93.1
	(期 首)			
第141期	2025年 3 月14日	7,031	—	93.1
	3 月 末	7,033	0.0	96.0
	(期 末)			
	2025年 4 月14日	6,834	△2.8	91.4
第142期	(期 首)			
	2025年 4 月14日	6,804	—	91.4
	4 月 末	6,939	2.0	95.6
	(期 末)			
第143期	2025年 5 月14日	6,937	2.0	97.3
	(期 首)			
	2025年 5 月14日	6,907	—	97.3
	5 月 末	6,916	0.1	94.7
第144期	(期 末)			
	2025年 6 月16日	6,927	0.3	95.3

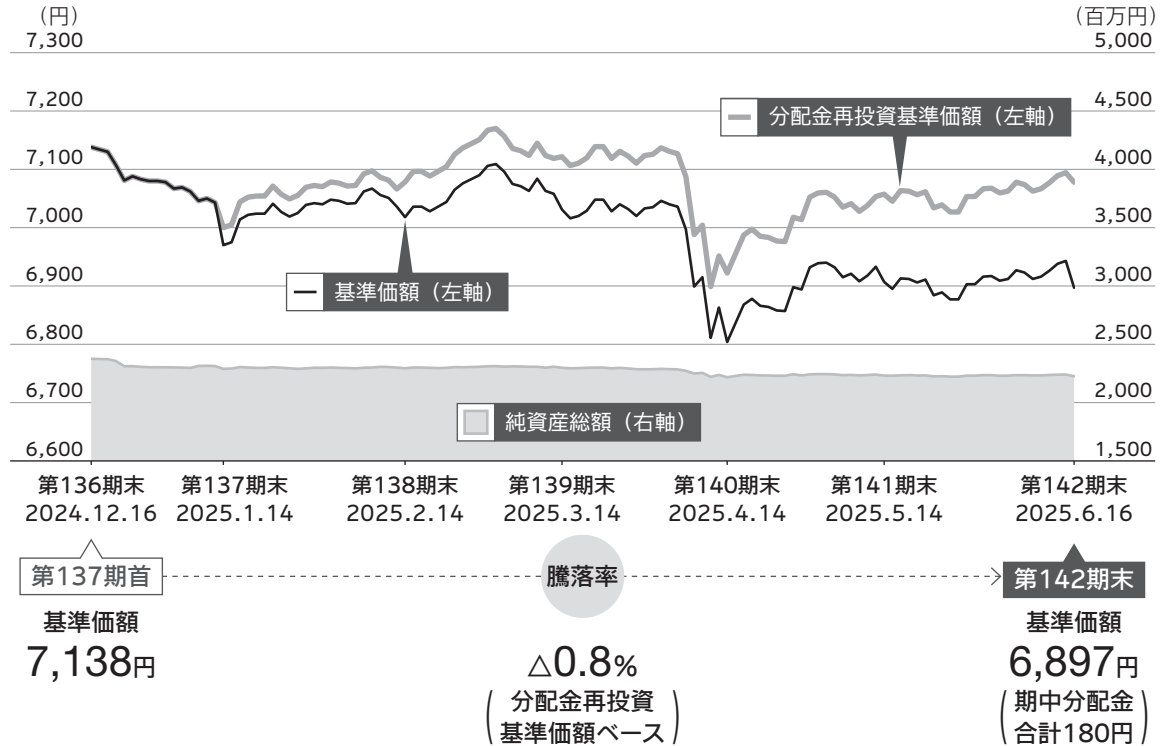
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年12月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがプラスとなったものの、為替ヘッジコストなどがマイナスに影響したことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は－4.5%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券において、対国債スプレッドが拡大したことから利回りは上昇（価格は下落）したものの、インカム収入が寄与し、所有期間利回りはプラスとなりました。一方、為替が米ドル安円高となったことがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りはほぼ横ばいとなりました。

2025年1月半ばにかけては、米大統領選挙でのトランプ氏再選による財政拡大やインフレ再燃に対する懸念から利回りは上昇したものの、その後は、トランプ大統領による関税政策を受けて、景気減速懸念が高まったことなどから利回りは低下（価格は上昇）し、期を通じて見ると利回りはほぼ横ばいとなりました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

2025年3月にドイツが財政規律重視の方針を見直し、財政拡張路線へ転換したことを受けて、国債増発懸念や景気下支え期待が高まったことから、利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

英国債券利回りは、米国金利に概ね連動する形で推移したものの、ドイツの財政拡張路線への転換によるドイツ金利上昇などが金利上昇圧力となり、利回りは上昇しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場では、トランプ大統領による関税政策を受けて、景気減速懸念が高まったことなどから、対国債スプレッドは拡大しました。

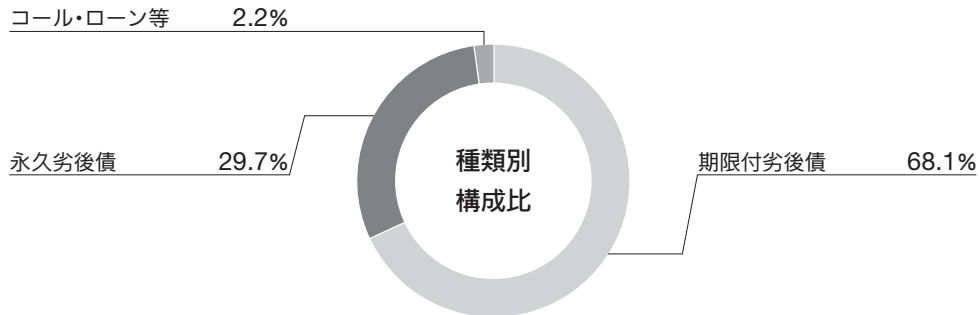
● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行っています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1．比率は、第142期末における純資産に対する割合。

注2．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第137期 2024.12.17 2025.1.14	第138期 2025.1.15 2025.2.14	第139期 2025.2.15 2025.3.14	第140期 2025.3.15 2025.4.14	第141期 2025.4.15 2025.5.14	第142期 2025.5.15 2025.6.16
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.429%	0.426%	0.425%	0.439%	0.432%	0.433%
当期の収益	15	21	19	18	20	19
当期の収益以外	15	8	10	11	10	10
翌期繰越分配対象額	422	414	404	392	384	374

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入※を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、ハイブリッド証券の利子または配当収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上昇を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 2024.12.17～2025.6.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.461%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,015円です。
（投信会社）	(15)	(0.219)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(15)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(0)	(0.007)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	33	0.473	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

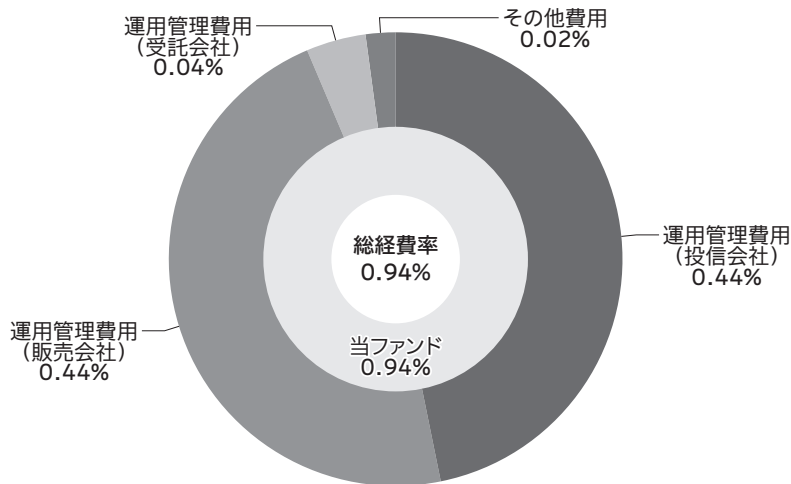
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.94%**です。



注1．当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3．各比率は、年率換算した値です。

注4．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月17日～2025年 6月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第137期～第142期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 59,353	千円 131,890	千口 105,142	千円 248,640

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月17日～2025年 6月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 6月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第136期末	第142期末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 992,217	千口 946,428	千円 2,169,781

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第142期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2025年 6月16日現在)

項 目	第142期末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 2,169,781	% 96.1
コール・ローン等、その他	87,185	3.9
投資信託財産総額	2,256,966	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、第142期末における外貨建資産(5,524,263千円)の投資信託財産総額(5,570,427千円)に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、第142期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝144.42円、1ユーロ＝166.56円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2025年1月14日現在	2025年2月14日現在	2025年3月14日現在	2025年4月14日現在	2025年5月14日現在	2025年6月16日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,496,891,448	4,430,198,442	4,403,707,712	4,249,411,932	4,336,607,148	4,312,689,376
コール・ローン等	102,400,048	61,740,330	50,499,748	32,652,736	46,830,130	87,183,617
日本金融ハイブリッド証券マスターファンド(評価額)	2,268,915,972	2,237,671,699	2,197,513,894	2,067,845,468	2,195,524,829	2,169,781,974
未収入金	2,125,575,120	2,130,785,906	2,155,693,586	2,148,913,415	2,094,251,740	2,055,722,949
未収利息	308	507	484	313	449	836
(B) 負債	2,207,460,132	2,135,751,607	2,105,461,741	2,032,356,623	2,103,740,590	2,086,735,698
未払金	2,195,888,928	2,124,047,666	2,093,197,276	2,019,294,818	2,091,770,731	2,075,100,316
未払収益分配金	9,854,172	9,808,163	9,805,930	9,775,392	9,698,163	9,681,661
未払解約金	88	73,145	808,880	1,477,098	555,756	69,030
未払信託報酬	1,699,350	1,803,960	1,632,755	1,790,776	1,698,359	1,865,382
その他未払費用	17,594	18,673	16,900	18,539	17,581	19,309
(C) 純資産総額(A－B)	2,289,431,316	2,294,446,835	2,298,245,971	2,217,055,309	2,232,866,558	2,225,953,678
元本	3,284,724,063	3,269,387,805	3,268,643,548	3,258,464,237	3,232,721,295	3,227,220,503
次期繰越損益金	△ 995,292,747	△ 974,940,970	△ 970,397,577	△1,041,408,928	△ 999,854,737	△1,001,266,825
(D) 受益権総口数	3,284,724,063口	3,269,387,805口	3,268,643,548口	3,258,464,237口	3,232,721,295口	3,227,220,503口
1万口当たり基準価額(C／D)	6,970円	7,018円	7,031円	6,804円	6,907円	6,897円

(注1) 当作成期間（第137期～第142期）における期首元本額3,329,086,593円、期中追加設定元本額111,695,820円、期中一部解約元本額213,561,910円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額
第137期0.6970円、第138期0.7018円、第139期0.7031円、第140期0.6804円、第141期0.6907円、第142期0.6897円

(注3) 期末における元本の欠損金額
第137期995,292,747円、第138期974,940,970円、第139期970,397,577円、第140期1,041,408,928円、第141期999,854,737円、第142期1,001,266,825円

○損益の状況

項 目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2024年12月17日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月14日	2025年2月15日～ 2025年3月14日	2025年3月15日～ 2025年4月14日	2025年4月15日～ 2025年5月14日	2025年5月15日～ 2025年6月16日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,874	15,738	12,647	10,212	9,460	28,429
受取利息	6,874	15,738	12,647	10,212	9,460	28,429
(B) 有価証券売買損益	△ 43,548,296	27,117,070	15,582,234	△ 62,412,076	44,720,271	8,414,631
売買益	18,196,105	76,963,613	55,736,438	132,645,026	116,500,352	34,177,382
売買損	△ 61,744,401	△ 49,846,543	△ 40,154,204	△ 195,057,102	△ 71,780,081	△ 25,762,751
(C) 信託報酬等	△ 1,716,944	△ 1,822,633	△ 1,649,655	△ 1,809,315	△ 1,715,940	△ 1,884,691
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 45,258,366	25,310,175	13,945,226	△ 64,211,179	43,013,791	6,558,369
(E) 前期繰越損益金	△503,264,513	△546,933,265	△524,777,400	△ 513,133,688	△578,824,990	△ 540,552,522
(F) 追加信託差損益金	△436,915,696	△443,509,717	△449,759,473	△ 454,288,669	△454,345,375	△ 457,591,011
(配当等相当額)	(141,189,229)	(135,682,181)	(134,058,274)	(130,421,676)	(126,176,827)	(122,739,871)
(売買損益相当額)	(△578,104,925)	(△579,191,898)	(△583,817,747)	(△ 584,710,345)	(△580,522,202)	(△ 580,330,882)
(G) 計 (D + E + F)	△985,438,575	△965,132,807	△960,591,647	△1,031,633,536	△990,156,574	△ 991,585,164
(H) 収益分配金	△ 9,854,172	△ 9,808,163	△ 9,805,930	△ 9,775,392	△ 9,698,163	△ 9,681,661
次期繰越損益金 (G + H)	△995,292,747	△974,940,970	△970,397,577	△1,041,408,928	△999,854,737	△1,001,266,825
追加信託差損益金	△441,842,782	△445,144,411	△453,028,116	△ 457,547,133	△457,578,096	△ 460,818,231
(配当等相当額)	(136,299,865)	(134,074,174)	(130,822,522)	(127,181,070)	(122,946,938)	(119,518,754)
(売買損益相当額)	(△578,142,647)	(△579,218,585)	(△583,850,638)	(△ 584,728,203)	(△580,525,034)	(△ 580,336,985)
分配準備積立金	2,624,429	1,566,078	1,288,843	669,563	1,453,204	1,397,858
繰越損益金	△556,074,394	△531,362,637	△518,658,304	△ 584,531,358	△543,729,845	△ 541,846,452

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2024年12月17日～2025年6月16日）は以下の通りです。

項 目	2024年12月17日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月14日	2025年2月15日～ 2025年3月14日	2025年3月15日～ 2025年4月14日	2025年4月15日～ 2025年5月14日	2025年5月15日～ 2025年6月16日
a. 配当等収益(費用控除後)	5,300,222円	7,130,643円	6,267,924円	5,903,934円	7,252,664円	6,398,709円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	141,226,951円	135,708,868円	134,091,165円	130,439,534円	126,179,659円	122,745,974円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	2,251,293円	2,608,904円	1,558,206円	1,282,557円	665,982円	1,453,590円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	148,778,466円	145,448,415円	141,917,295円	137,626,025円	134,098,305円	130,598,273円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	452円	444円	434円	422円	414円	404円
g. 分配金	9,854,172円	9,808,163円	9,805,930円	9,775,392円	9,698,163円	9,681,661円
h. 分配金(1万円当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

○分配金のお知らせ

	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

○お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2024年12月16日）

＜計算期間 2023年12月15日～2024年12月16日＞

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 総 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
	円		%		%	百万円
8期(2020年12月14日)	16,364		4.1		97.3	7,306
9期(2021年12月14日)	17,937		9.6		97.6	4,505
10期(2022年12月14日)	18,614		3.8		96.4	3,604
11期(2023年12月14日)	20,434		9.8		97.4	6,934
12期(2024年12月16日)	24,012		17.5		98.3	6,907

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰	落 率		
	(期 首)		円		%		%
	2023年12月14日		20,434		—		97.4
	12月末		20,727		1.4		95.9
	2024年1月末		21,625		5.8		96.8
	2月末		22,063		8.0		97.4
	3月末		22,401		9.6		98.5
	4月末		22,799		11.6		97.8
	5月末		23,101		13.1		97.3
	6月末		24,028		17.6		97.6
	7月末		23,027		12.7		97.2
	8月末		22,415		9.7		96.0
	9月末		22,425		9.7		98.0
	10月末		23,888		16.9		98.4
	11月末		23,504		15.0		97.7
	(期 末)						
	2024年12月16日		24,012		17.5		98.3

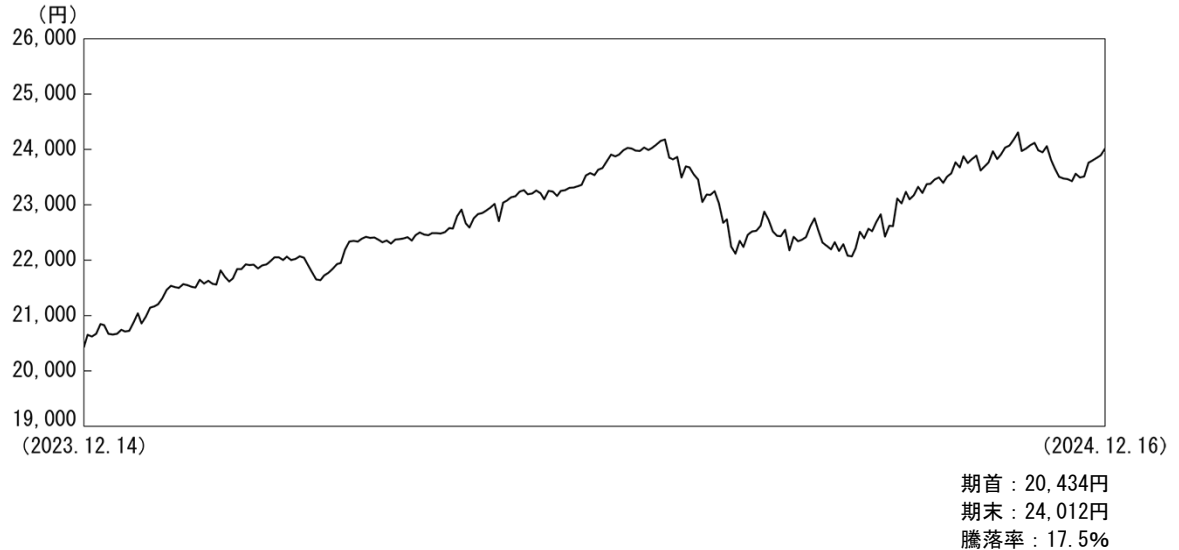
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2023年12月15日～2024年12月16日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+17.5%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドが縮小し、利回りが低下（価格は上昇）したことや、インカム収入を獲得したことがプラスに寄与しました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

2024年4月にかけては、米国のインフレ率が高止まり、利下げ観測が後退する中、利回りは上昇しました。9月にかけては複数の経済指標が市場予想を下回り、利下げ観測が強まる中、利回りは低下したものの、米大統領選挙でのトランプ氏再選による財政拡大やインフレ再燃に対する懸念から利回りは上昇し、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

米国金利上昇の影響を受けて、2024年4月にかけて利回りは上昇しました。9月にかけては、米国金利低下の影響や、欧州のインフレ鈍化などから、追加利下げ観測が強まり、利回りは低下しましたが、その後は米国金利の上昇を受けて利回りは再度上昇しました。米大統領選挙でのトランプ氏再選による欧州景気への影響が懸念される中、11月にかけて利回りは低下しましたが、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

米国金利上昇の影響や、インフレ指標が市場予想を上回ったことなどを受けて、2024年4月にかけて利回りは上昇しました。9月にかけては、米国金利低下の影響などから利回りは低下しましたが、その後は、米国金利上昇の影響や、秋季予算案を受けて財政懸念が高まったことなどから、利回りは上昇しました。結果、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

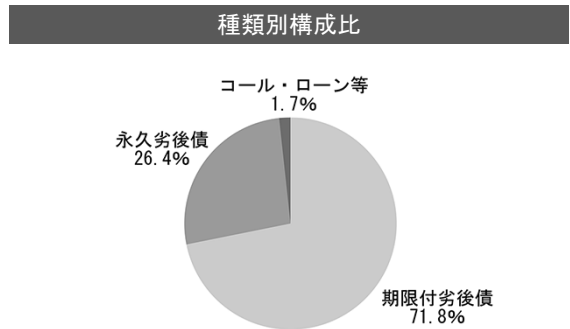
○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場では、米国の利下げが意識される中で、株式市場が堅調に推移するなど、市場のリスクセンチメントが改善し、対国債スプレッドは縮小基調で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



(注1) 比率は、第12期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とまらない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組入れ銘柄の入れ替えも検討します。

○1万口当たりの費用明細

(2023年12月15日～2024年12月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.013	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(3)	(0.013)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	3	0.013	
期中の平均基準価額は22,666円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年12月15日～2024年12月16日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千アメリカ・ドル 3,455	千アメリカ・ドル 9,084

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月15日～2024年12月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年12月16日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	48,400	44,103	6,788,462	98.3	—	73.5	9.0	15.8
合 計	48,400	44,103	6,788,462	98.3	—	73.5	9.0	15.8

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘			柄			当				期		末		
						利	率	額面金額	評		価		額	償還年月日
									外貨建金額	邦貨換算金額				
アメリカ						%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円					
普通社債券 (含む投資法人債株)	DAI-ICHI 4.0 260724		4.0		5,400		5,290		814,241	2026/ 7 /24				
	MEIJIYASUDA 5.2 251020		5.2		1,800		1,797		276,644	2025/10/20				
	MIZUHO FG 2.564 310913		2.564		8,800		7,465	1,149,163		2031/ 9 /13				
	MSINS 4.95 290306		4.95		4,100		4,050	623,441		2029/ 3 /6				
	NIPPON LIFE 2.75 310121		2.75		4,000		3,456	532,053		2031/ 1 /21				
	NIPPON LIFE FRN 310916		2.9		5,800		4,955	762,721		2031/ 9 /16				
	NIPPON LIFE FRN 330913		6.25		1,000		1,052	162,070		2033/ 9 /13				
	SUMITOMO LI 3.375 310415		3.375		7,000		6,243	961,066		2031/ 4 /15				
	SUMITOMO LIFE FRN 340118		5.875		2,500		2,525	388,758		2034/ 1 /18				
	SUMITOMO MI 2.142 300923		2.142		6,200		5,289	814,162		2030/ 9 /23				
	SUMITOMO MI 6.184 430713		6.184		1,800		1,975	304,137		2043/ 7 /13				
合			計							6,788,462				

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2024年12月16日現在)

項 目	当 期	期 末
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,788,462	98.3
コール・ローン等、その他	118,682	1.7
投資信託財産総額	6,907,144	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(6,880,593千円)の投資信託財産総額(6,907,144千円)に対する比率は、99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=153.92円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,907,144,079
コール・ローン等	42,283,801
公社債(評価額)	6,788,462,233
未収利息	76,398,045
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	6,907,144,079
元本	2,876,575,412
次期繰越損益金	4,030,568,667
(D) 受益権総口数	2,876,575,412口
1万口当たり基準価額(C／D)	24,012円

(注1) 信託財産に係る期首元本額3,393,701,275円、期中追加設定元本額438,548,537円、期中一部解約元本額955,674,400円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジありコース
	992,217,431円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジなしコース
	1,459,346,980円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジありコース
	244,286,107円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジなしコース
	180,724,894円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 2.4012円

○損益の状況 (2023年12月15日～2024年12月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	288,773,604
受取利息	288,777,055
その他収益金	4,444
支払利息	△ 7,895
(B) 有価証券売買損益	902,580,344
売買益	903,399,339
売買損	△ 818,995
(C) 保管費用等	△ 971,296
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,190,382,652
(E) 前期繰越損益金	3,540,830,152
(F) 追加信託差損益金	530,891,463
(G) 解約差損益金	△1,231,535,600
(H) 計(D+E+F+G)	4,030,568,667
次期繰越損益金(H)	4,030,568,667

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。